

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	普通	強	指数
思索型	内閉性 : 社交意識が低い				41
	客観性 : 思考的思慮深い				59
活動型	身体性 : 機敏な・気軽な				64
	気分性 : 感情のまま行動				47
努力型	持続性 : 几帳面・忍耐力				56
	規則性 : 常識的・順法的				66
積極型	競争性 : 勝気な・積極的				48
	自尊心 : 気ぐらいが高い				53
自制型	慎重性 : 見通しをつける				57
	弱気さ : 取越苦勞・遠慮				49

■この人の中心性格は「努力・規則性」および「活動・身体性」であるが、「思索・客観性」や「自制・慎重性」といった側面も本人は意識している。

●「努力・規則性」及び「活動・身体性」の人のパーソナリティスケッチ

几帳面であり手掛けたことはとことん追求する徹底性もみられる。しかし、几帳面といっても、細かいことまでこだわるというより全体のまとまりを見たり、また、整理整頓は好ましいことだと思っけていても、いつもきれいでなければ気がすまないというほどではない。物事の判断のしかたは、堅実というイメージであるが、ときに突発的な発想をしたりもする。行動力もあり、身軽で多少の困難にも粘り強い姿勢で対応することができる。ただ、規則や秩序を大切にしている常識家であり、決定事項などは必ず守るといった社会通念が強いあまり、お堅い人との印象を与えることもある。新しい環境などには比較的とけこむのが早く適応力がある。初対面では馴染みにくそうに思われることもあるが、本人は誰とでも気軽に話すことができ、すぐに親しくなれるような庶民的な雰囲気がある。精神的にもわりと安定していて、常に自分のリズムを一定に保つことができる。世話好きで親切的な側面もあり、集団のリーダー格として活躍できる可能性をもっている。

●もう一方の性格特性

内向的でなく、外向的な人である。関心が対社会にあり、自分の殻に閉じこもり、孤独に生きていくというタイプではなく、職場の雰囲気にも腐心し、気遣いのできる人。ただ、夢のような世界、美の鑑賞や創造の世界に、ひとり芸術的に生きるというサビの部分欠ける。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	普通	強	指数
日常周辺事型				47
客観・科学型				60
社会・経済型				53
心理・情緒型				43
審美・芸術型				53

物事を分析的に考える、又はそのまま事実のみ捕らえる。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	普通	強	指数
積極性				57
協調性				61
責任感				51
自己信頼性				53
指導性				56
共感性				55
感情安定性				57
従順性				52
自主性				50
モラトリアム傾向				50

自らの意見や提案を出し、率先して実行に移そうとする。仲間と一緒に考え、協力して目標に向かうことができる。

皆から頼りにされ、意見や行動をまとめていこうとする。環境内の仲間と同じ立場になり、物事を考えようとする。多少の事で動揺したりせず、気持ちにムラが少なく安定。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	普通	強	指数
達成 欲求				52
親和 欲求				51
求知 欲求				47
顕示 欲求				48
秩序 欲求				71
物質的欲望				64
危機 耐性				48
自律 欲求				59
支配 欲求				56
勤勞 意欲				64

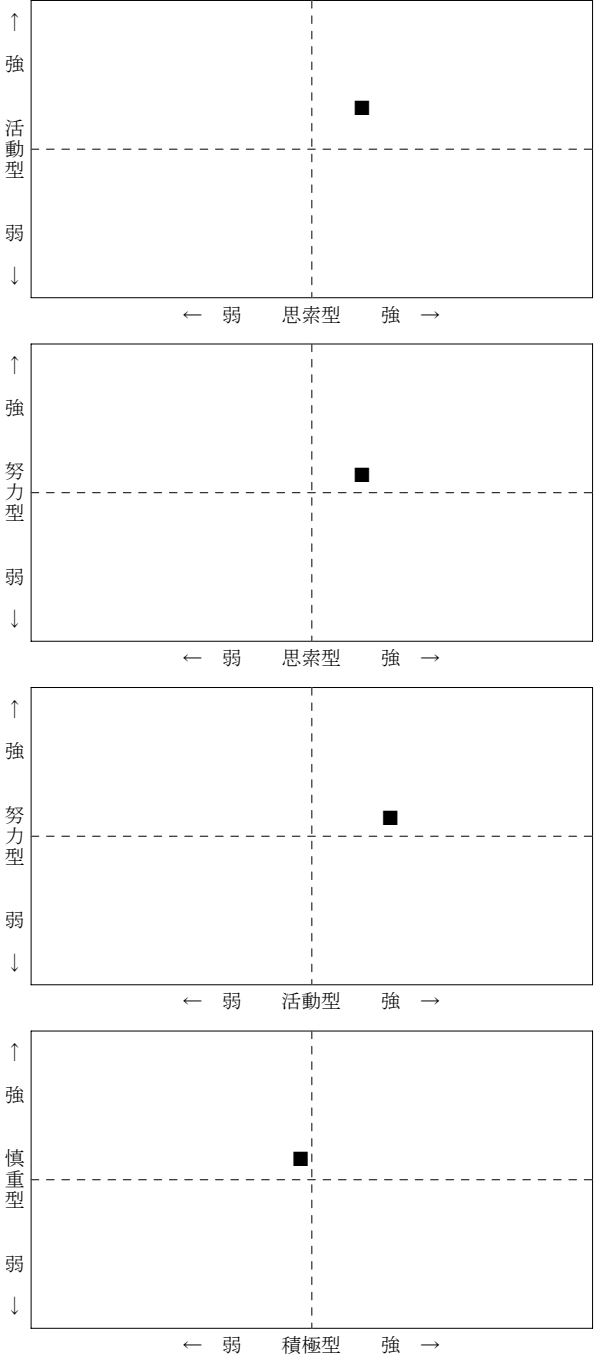
自己範囲内の環境や物事は、キチンと整理しておきたい。モノを獲得し保持したい、失いたくないなど物欲がある。

他人に依存したり頼りきった生活より、自力で生きたい。人の上に立ち、他人を動かすような力関係を形成したい。仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。

■この人は「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群が一番強く、ついで「苦勞を乗越え、成長したい」系統の欲求群となっている。逆に「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

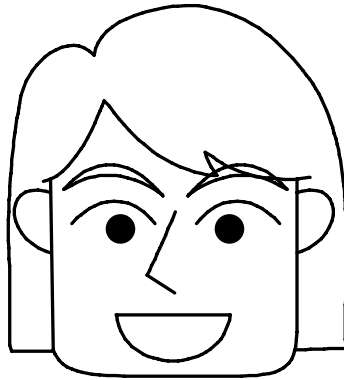
【本人の性格特性】

■印が本人の位置



【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性 眉の傾き：従順性
 瞳の直径：達成欲求 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 鼻の高さ：顕示欲求 口の形状：親和欲求+協調性
 顔の輪郭：性格類型
 逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型



【自己評価】

意欲・ヤル気			管理・対人能力			思考能力				
積意根責決	極欲気任断	実熱強感勇	行意さ	力ダ	信頼	独創斬新	現状分析	洞察立案	企画専門知識	情報活用
A	C	B	A	B	C	B	B	C	D	C
B			B			C				

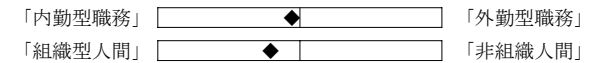
【採用判定】

定着性・安定性 = 2
 CUBICの判定結果 = 「A」

【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的な職場状況での可能性		70
(2) 海外など精神力の必要な職務		64
(3) 足腰のよさが武器になる職務		55
(4) 集中力、緻密さの必要な職務		73
(5) 標準化された仕事や工場労働		74

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「最適」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (2) 「最適」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (3) 「最適」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (4) 「適切」営業など対人的接触をとまう仕事
- (5) 「適度」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (6) 「小適」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「最適」経理管理者
- (2) 「適切」人事管理者
- (3) 「適切」人事専任者
- (4) 「適切」経理専任者
- (5) 「適切」基礎研究管理者
- (6) 「適切」企画専任者

《低い順》

- (1) 「適度」営業専任者
- (2) 「適度」営業管理者
- (3) 「適切」研究開発者
- (4) 「適切」広報専任者
- (5) 「適切」研究管理者

【判定結果E】配置適性 2

- | | |
|--------------|-------------------|
| (1) 「最適」物流 | (1) 「適度」新規事業開発 |
| (2) 「最適」倉庫 | (2) 「適度」研究開発 |
| (3) 「最適」庶務 | (3) 「適度」営業（積極タイプ） |
| (4) 「最適」教育研修 | (4) 「適度」顧客開発 |
| (5) 「最適」編集校正 | (5) 「適度」営業（持続タイプ） |
| (6) 「適切」人事 | |